

地域のサステナブル・ツーリズム推進事業

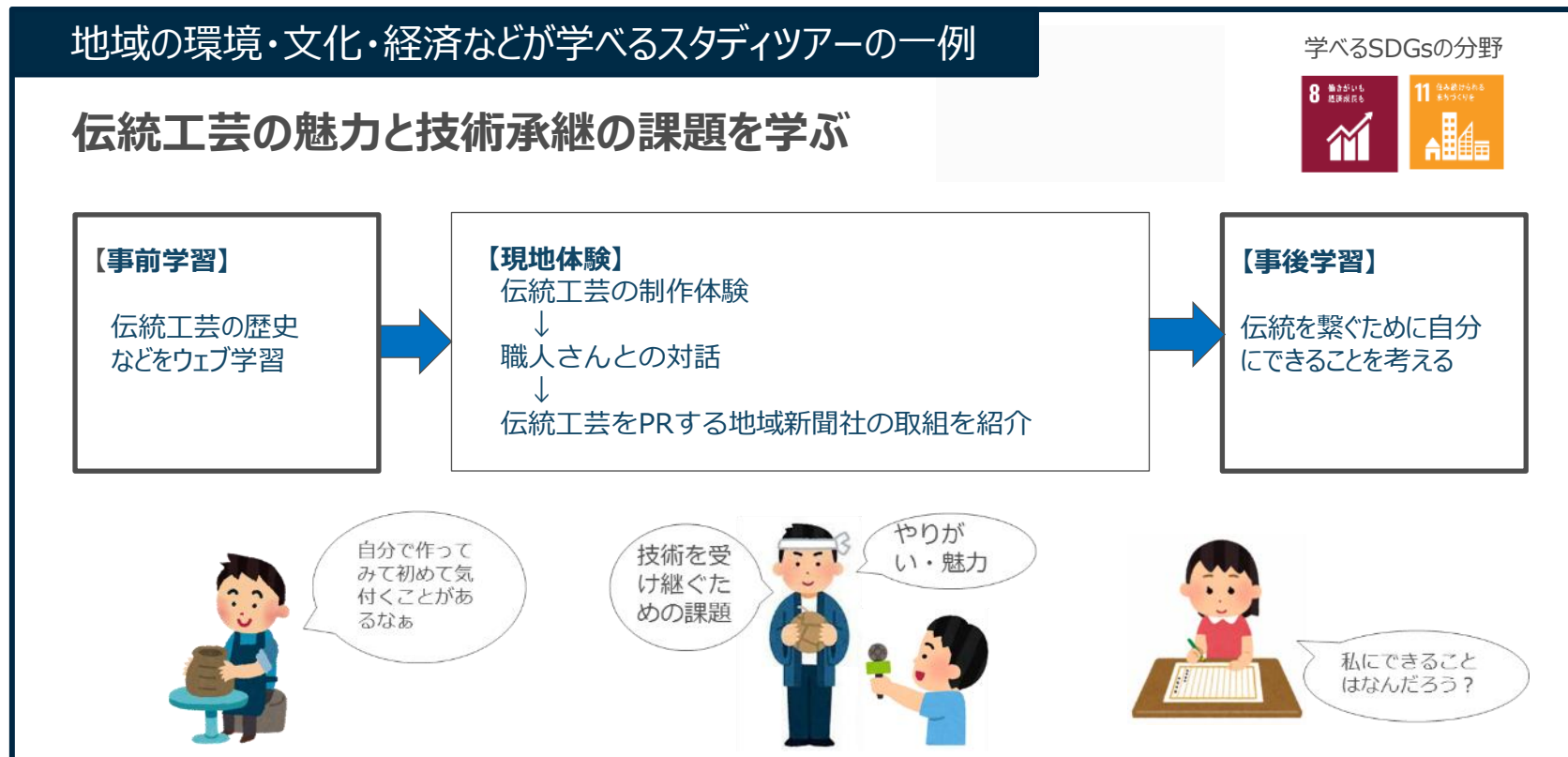
地域の環境・文化・経済などが学べるスタディツアー (SDGsツアー) 造成協力地域の募集について

令和4年6月

公益財団法人東京観光財団
(事務局：近畿日本ツーリスト株式会社)

「地域の環境・文化・経済などが学べるスタディツアー」について

東京観光財団では、**小学生（親子）や中高生を対象に、地域の環境・文化・経済などが学べるスタディツアー（以下「SDGsツアー」という。）**を造成し、**モニターツアーによって実施効果を検証すること**を目指しています。



モニターツアーの**主催・催行は当財団（事務局：近畿日本ツーリスト株式会社）**が担いますが、**地域の皆さまのご協力が不可欠**です。そこで、**ご協力いただける地域を次ページのとおり募集**します。

■ 募集対象：

SDGsツアー（モニターツアー）の造成に協力(※)できる、都内で観光まちづくりに取り組む団体等（観光協会、商工会・商工会連合会・商工会議所等）

※具体的に協力いただく内容の想定はP.5をご覧ください。

■ 募集団体(地域)数：

区部／多摩／島しょエリアで、各1団体(地域)程度（計3団体(地域)程度）

■ 募集期間：

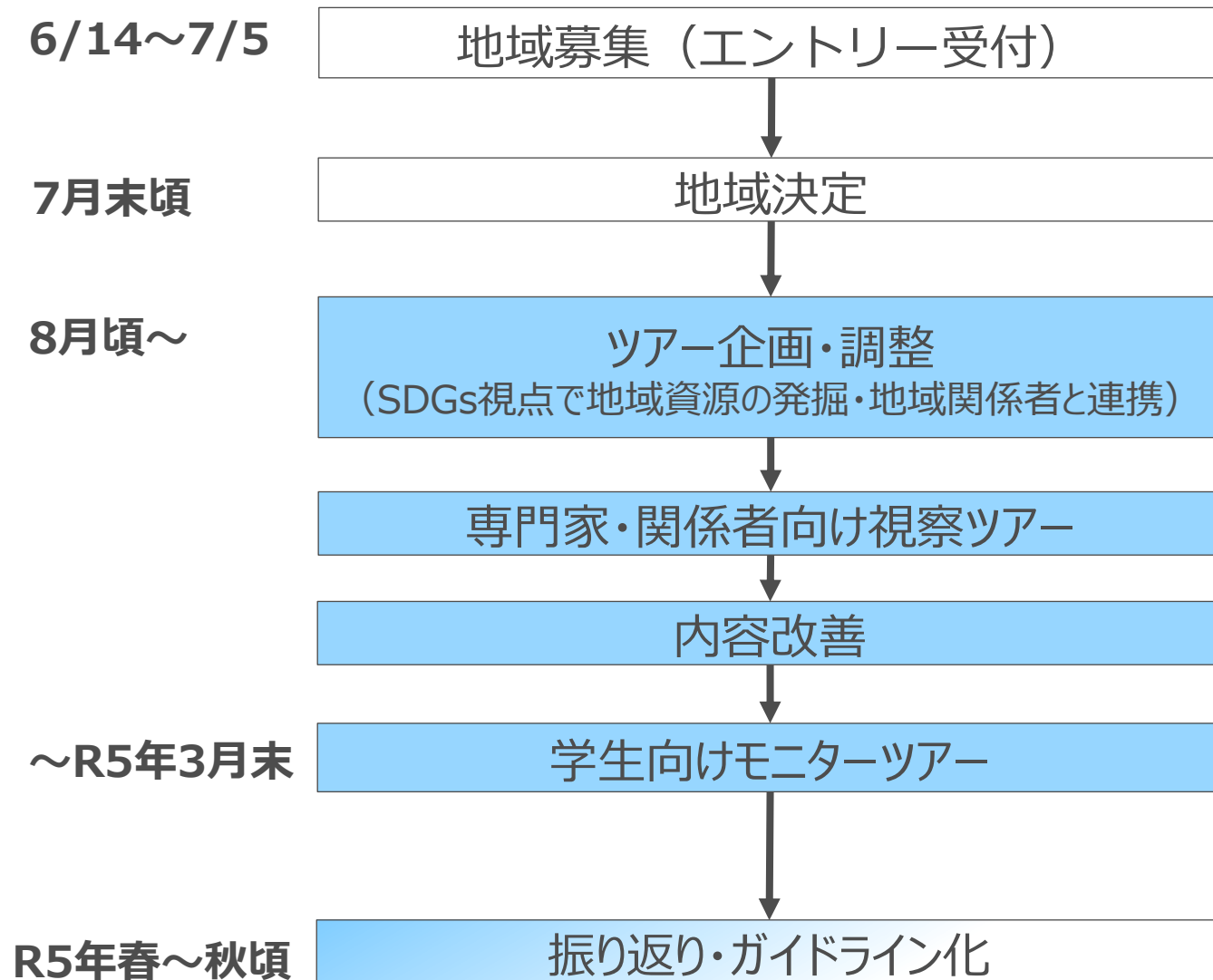
令和4年6月14日(火)から同年7月5日(火)まで

■ 応募方法：

当財団指定のエントリー用紙にご記入の上、メール添付で提出（→詳細はP.7）

■ 決定時期：

令和4年7月末頃



エントリー内容に不明点がある場合は、内容確認のために個別ヒアリングをさせていただきます。

R5年3月末までのモニターツアーを開催を原則としますが、季節の制約や地域の事情で難しい場合はお気軽にご相談ください。

造成過程やモニターツアー結果を踏まえてガイドラインを作成し、都内各地域へ展開予定です。



観光協会等 (応募者)

【役割】

- ・ **企画協力** (利用可能な地域資源の紹介、アイデア出し、企画会議参加など)
- ・ **地域関係者との調整** (紹介、取り次ぎ、各種調整・交渉サポートなど)
- ・ **検証・改善** (モニターツアーへの同行、振り返りや改善意見出しなど)

等



東京観光財団& 近畿日本ツーリスト

【役割】

- ・ 地域と相談しながらツアー造成
(事前/事後学習プログラム含む)
- ・ モニターツアー参加者募集
- ・ モニターツアー当日のアテンド

等

情報共有 相談・推進



専門家

【役割】

- ・ コンテンツ磨き上げ、
ツアー造成へのアドバイス
- ・ 事前、事後学習の監修

等

SDGsツアーに関する諸条件

- 主な前提
 - **ツアー数**：1地域あたり、最大3ツアー（3種類のツアー）の造成が可能です。
 - **想定参加者層**：小学生(親子)・中学生・高校生の中から、ツアー内容等に応じてターゲットを絞って構いません。
 - **参加人数**：モニターツアー1回あたり10～20名程度を想定しています。（応相談）
 - **開催期間等**：ツアー時間の長さや立ち寄りスポット数の指定は特にありません。短時間のツアーから、宿泊を伴うツアーまで、参加者及び地域のニーズに応じて柔軟に企画可能です。
 - **参加料金**：無料/有料の指定はないので、協議により決定します。
- 学びの内容について
 - **地域での観光体験を通してSDGs（持続可能な環境、文化、社会・経済など）について学べるツアー**を目指します。
 - **事前/事後学習の実施タイミング・場所・内容は、参加者ニーズやツアー内容に応じて柔軟に設計可能**です。



**SDGsツアーの具体的なイメージ例は、
P.10～17をご覧ください。**

■応募方法：

下記URLからエントリー用紙をダウンロード&ご記入の上、下記宛先へメール添付でご提出ください。
(応募受付期間：令和4年6月14日(火)から同年7月5日(火)まで)

・エントリー用紙（Excel形式）

https://www.tcvb.or.jp/jp/news/2022/06/14/sdgs_entrysheet.xlsx

・メール提出先

＜事務局＞ 近畿日本ツーリスト株式会社 公務営業支店 担当 三原・山崎
電話 03-6730-3342
メールアドレス sustainablejimukyoku@or.knt.co.jp

造成協力地域 決定方法

■ 選定の視点：

提出されたエントリー用紙を基に、以下のような視点から、造成地域を選定・決定させていただきます。
(エントリー用紙の内容に不明点がある場合は、内容確認のために個別ヒアリング等をさせていただきます場合があります。それらの内容も含め、総合判断させていただきます。)

地域資源	地域資源の発掘・磨き上げにつながるか。
ストーリー	地域ならではのストーリーがあるか。
地域内連携	地域内での連携促進につながるか。
地域課題	地域の課題の解決につながるか。
魅力	参加者が楽しめる内容か。
学びの内容	SDGs関連の学びが得られる内容か。
参加者ニーズ	参加者(本人、保護者、教育市場等)のニーズに合うか。
実現性	実現可能性や確度があるか。
安全性	参加者の安全が確保できるか。
発展性	本事業終了後の展望が見込めるか。
意欲	造成・開催にあたって積極的な協力が得られそうか。

■ **選定地域数：** 区部／多摩／島しょエリアで、各1団体(地域)程度 (計3団体(地域)程度)

■ **決定時期：** 令和4年7月末頃 (応募いただいた全ての団体(地域)へ結果をお知らせします。)

その他の留意点、お問い合わせ先

- 造成協力地域の決定後、ツアー企画・調整にあたっては当財団関係者（SDGsの専門家等も含む）との打ち合わせを緊密にお願いすることになります。対応が難しい時期（繁忙期等）がある場合は、エントリー用紙の所定欄にて予めご申告ください。
- その他、応募にあたってのご懸念や、当事業や造成するツアーについて不明点等がある場合は、下記担当者へお気軽にお問い合わせください。

公益財団法人東京観光財団 地域振興部事業課 担当：谷

電話 03-5579-2682

メール k.tani@tcvb.or.jp

補足資料 1 SDGsツアー（モニターツアー）のイメージ

SDGsツアー（モニターツアー）のイメージについて

本事業で造成するSDGsツアー(モニターツアー)は、例えば以下のようなイメージです。

- 例① 伝統工芸の魅力と技術承継の課題を学ぶ
- 例② 「地産地消」から経済と食の循環を学ぶ
- 例③ 豊かな海との共生を学ぶ
- 例④ プラスチックゴミ問題への対策を考える

次ページ以降に、
ツアーの構成イメージを
例示してみました。

上記はあくまで一例です！

- 他にも様々な切り口から作れると思いますし、未だ観光コンテンツ化されていない地域資源も、テーマ設定によっては貴重なコンテンツになり得ます。
- ツアーイメージに関するQ&A（P.16～17）もご覧ください。

ツアーイメージ例①

「伝統工芸の魅力と技術承継の課題を学ぶ」

【事前学習】

その地域の伝統工芸の歴史をウェブ学習



【現地体験】

伝統工芸の制作体験



職人さんとの対話



伝統工芸をPRする地域新聞社の取組を紹介



【事後学習】

伝統を繋ぐために自分にできることを考える個人ワーク

ターゲット層

中学生向け

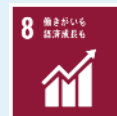
[学びの категория]

文化

[活用する地域資源]

- ・有形文化（伝統工芸品）
- ・交流・対話（職人と対話）
- ・地域企業
- ・文化の保護・継承の取組

学習できるSDGsの分野



自分で作ってみて初めて気付くことがあるなあ

技術承継の課題

やりがい・魅力



私にできることはなんだろう？

ツアーイメージ例②

「地産地消」から経済と食の循環を学ぶ

【事前学習】

「食の循環」の課題について教材で学習



【現地体験】

農家で農作業体験



地産地消のレストランで昼食



食品廃棄物を肥飼料へリサイクルする地域企業を見学



【事後学習】

地域内の経済循環や食の循環についての振り返り・まとめ

学習できるSDGsの分野



ターゲット層

小学生(親子)向け

[学びの 카테고리]

**経済
環境**

[活用する地域資源]

- ・農林水産業（農業体験）
- ・交流・対話（農家との交流）
- ・食文化（地産地消のメニュー 等）
- ・地域企業 ・廃棄物・リサイクル対策

ツアーイメージ例③

豊かな海との共生を学ぶ

【事前学習】

地球温暖化などについて事前学習



【現地体験】

海で釣り体験&調理体験



漁師さんとの対話（魚の種類・漁獲量の変化など）



役場にて海水温の変化や計画的漁業の必要性の講義



【事後学習】

豊かな海との共生についてのグループディスカッション

学習できるSDGsの分野



ターゲット層	中学生向け	[学びのカテゴリー]	[活用する地域資源]
		経済 環境	・自然（釣り体験） ・食文化（漁師飯の調理体験） ・交流・対話（漁師と対話） ・農林水産業（地域での漁業への取組）

ツアーイメージ例④

プラスチックゴミ問題への対策を考える

【事前学習】

自分のゴミの捨て方や排出量を振り返るワークシート



【現地体験】

美しい水辺でウォーターアクティビティを体験



水辺を散策しながらゴミ拾い



地域の環境NPOからゴミ発生原因や現状の対策を聴く



【事後学習】

グループワークで対策を立案&発表会

ターゲット層

高校生向け

[学びの 카테고리]

環境

[活用する地域資源]

- ・自然 (ウォーターアクティビティ)
- ・廃棄物・リサイクル対策 (ゴミ拾い体験、地域NPOの取組)

学習できるSDGsの分野



美しい景観と楽しさを満喫!



きれいな水辺なのにゴミが多いのね



僕たちが考えた対策を発表します

ツアーイメージに関するQ&A

Q. 複数の場所（スポット）を巡る必要がありますか？

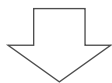
A. 訪れる場所（スポット）の数は、特に指定ありません。

地域ならではのテーマを軸に、複数のコンテンツを組み合わせ、ストーリー立てて体験・学べるツアーであれば、物理的に訪れる場所は1か所だけでも大丈夫です。

※多くの場所を巡るツアーはもちろん大歓迎です！（ツアー造成を通して、できるだけ多くの地域資源をサステナブルな視点で発掘・磨き上げることを目指しているため。）



体験するだけ



- 地域の魅力や課題への理解が深まらない
- SDGsとの関連が分からない



- 地域ならではのストーリーの中で体験することで、地域の魅力や課題を深く理解できる。
- SDGsに関連する学びが実体験として得られる。

ツアーイメージに関するQ&A

Q. 学校向け（教育旅行）のツアーを造成してもいいですか？

A. 学校向け（教育旅行）需要を見据えた内容のツアーを造成することは可能です。
（ただし本事業で実施するモニターツアーの参加者は一般からの募集を想定しています。）

Q. ガイド役（各コンテンツの説明役）は地域側で用意する必要がありますか？

A. はい。地域に根差したツアーにするため、ガイド役は地域と関係の深い方に担っていただくのが理想だと考えています。

現状、ガイド人材がない場合、当事業の中で育成を支援させていただきます。また、地域の事情に合わせて、ガイド役の負担を軽くする工夫や仕組みも検討させていただきます。

Q. 事前／事後学習はツアー内で実施するのですか？

A. 指定はありません。ツアー外で実施するための学習用教材を配布するなどの対応も可能です。
※ツアー内容や参加者層に応じて、求められる事前／事後学習の内容は異なるので、最適な実施内容／手段を協議しながら決めていく予定です。

ご不明点は、担当までお気軽にお問い合わせください！

補足資料 2 当事業の狙い・効果

効果1

地域の魅力の再発見

地域資源を整理し、これまで観光素材として活用していなかったヒト・モノ・コトを観光資源として磨きあげることで、地域の魅力の向上や再発見に繋がります。

効果2

地域内連携の強化

地域内コンテンツをつないでツアーをすることにより、地域内でこれまでバラバラに活動していた事業者の連携機会を創出できます。そして、SDGsのゴールを明確化することで課題解決に向けた意識を共有できます。

効果3

新たなターゲット層へのアプローチ

教育マーケットではSDGsを通じた学びのニーズが拡大しています。スタディツアーとして、ターゲットを明確化してツアーを造成することにより、従来の観光客以外の新たな層への認知度を高め、来訪者の増加が見込めます。

効果4

関係人口の増加

通常の観光ツアーよりも深く地域と関わり、地域ならではの魅力を深く実感できる他、地域が抱える課題そのものも自分事として捉えるきっかけになる為、将来的な関係人口の増加も期待できます。



地域のサステナブル・ツーリズム推進に寄与

よくあるご質問

Q. 本事業に応募するメリットを教えてください。

A. 「地域のSDGsを学ぶツアー」の造成に取り組むメリットは前ページのとおりです。

本事業ならではのメリットとしては、

主催・催行を当財団（事務局：近畿日本ツーリスト株式会社）が担うため、

・ **応募団体側の造成予算不要&主催者としての事務負担なし**

・ **旅行商品造成やSDGsに関する専門家からのアドバイスや監修を受けつつ造成可能**
といったメリットがあります。

Q. 本事業で作成予定のガイドラインとは何ですか？

A. 今回のツアー造成等で得られた知見やノウハウ等をガイドラインとして取りまとめ、他地域にも参考となるよう展開予定です。

ガイドラインの作成にあたっては、観光協会等の立場から、ツアー造成時の工夫や注意点、モニターツアーを開催して感じたこと等をお知らせいただくなど、ご協力をお願いする予定です。